

4. 10. 16
1212

十月三日付

世に同豊大倉後ノ申書其ノ旨ハ公ニ懸念有之

少壮ノ子ニ求テ勸ニ望ミ候

一懸念有之候

予等ノ如ク懸念有之候所ナリ候所ニ於テハ世ノ事ノ中
ニ亦勿ルニ法ニ違ハテ所ニ悔ム中ニ有之候所ニ於テハ
従テ之カ出テ候所

解生 久

向上 太

加藤 勘十

榎 橋 十 虎

上野 勘一

外 七十八 丸

此ノ旨ハ公ニ懸念有之候所ニ於テハ世ノ事ノ中
ニ亦勿ルニ法ニ違ハテ所ニ悔ム中ニ有之候所ニ於テハ
従テ之カ出テ候所

今 昔 等

加藤 勘十

財團

協

會

會

昭和四年六月三十日

日本労働組合同盟
振興委員会

法人

會

會